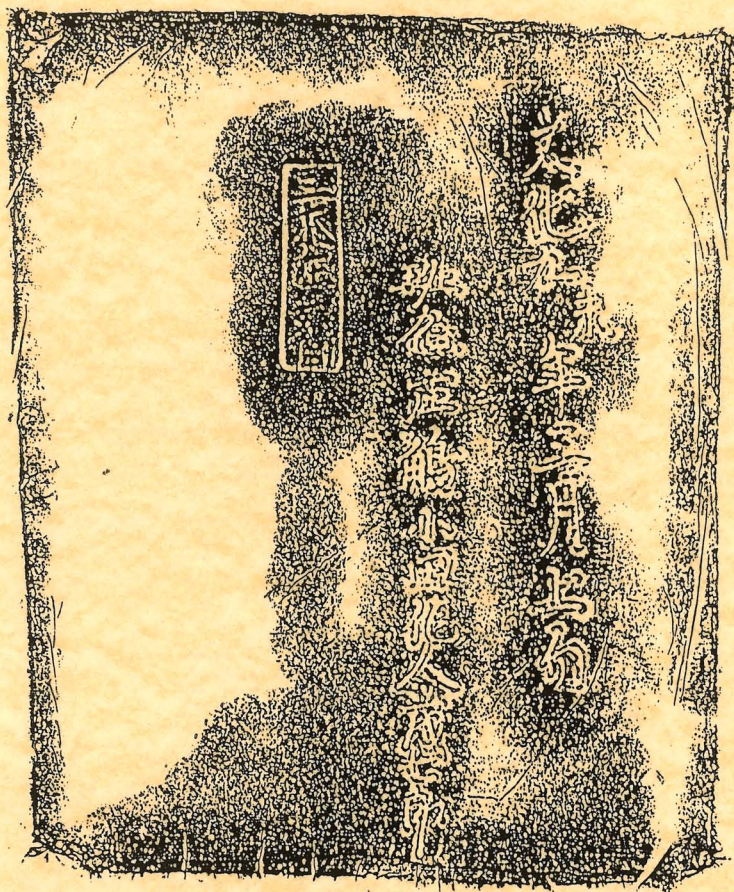


太子町内の瓦銘

—太子町内の瓦銘調査報告—



鷗・三木家「文化九年三月」銘平瓦

1989年10月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、太子町で確認された瓦銘の報告書（第4集）である。
2. 調査は、太子町文化財審議委員の蔵屋信一氏、山本隆氏が行ない、その整理には、太子町教育委員会社会教育課の三村修次・田村三千夫があたり、首藤聖・岩村千穂の協力を得た。
3. 本書の執筆は田村が行ない、編集は田村・三村が担当した。

目次

1. 調査に至る経過	1
2. 調査結果	1

表目次

第1表 太子町内紀年銘瓦集成	2
第2表 確認された瓦師の名前	5

1. 調査に至る経過

太子町内には、江戸期や近代初期に建てられた寺社・個人住宅が少なからず残されているが、そのなかには、文字の刻まれた瓦を使用している例が散見される。斑鳩寺等の調査から、この時期に、地元の瓦大工として三木氏が活躍していたことが知られているが、これらの文字瓦のなかには、彼等の足跡が残されたものも多く見られる。

近年、取り壊しや改修工事によってその瓦が失われてしまうおそれが出てきた。そのため、町文化財審議委員の葺屋信一氏・山本隆氏らに依頼し、銘文のある瓦の調査を行った。

2. 調査の結果

以下の場所から文字瓦が見つかった。

善導寺	太子町竹広 185	改野家	太子町東南
照雲寺	太子町広坂字東垣内	桑田脩家	太子町老原 335
正円寺	太子町阿曾字屋敷	塩津家	龍野市広山
大歳神社	太子町原	稗田操家	太子町松尾
		稗田猛家	太子町松尾
		平井元世家	太子町鶯
		三木健家	太子町鶯
		森沢清数家	太子町東出 212
		柳生巧家	太子町佐用岡 590

また、斑鳩寺の庫裏よりあらたに2点の文字瓦が見つかったので、合わせて報告する。これまでの調査の結果、74点の文字瓦が確認され、うち30点は紀年銘を持つ(第1表)。この他にも、斑鳩寺三重塔などで紀年銘を持つ瓦の所在が伝えられているが、現在、町教委でくわしい確認がされておらず、また、拓本等を保管していないので、除外させてもらった。また、瓦師は第2表のとおりである。

太子町内紀年銘瓦集成

年号	使用建物及位置	番号	種類	銘文	文献
1551 (天文20) か	(斑鳩寺 庫裏保管)	1	鳥伏 間瓦	同人□□ 御太子御寶前瓦天文二□ 助兵□□ □□□□	
1565 (永禄 8)	斑鳩寺 弥勒堂 南西隅棟	1	伏間瓦	永禄八年 ^{キトノ} の 九月十三日	(2)
1718 (享保 3)	正円寺 本堂	1	鬼瓦	享保三年 藤原氏 □□□□□□ 舩 住人 三月日 仁左工門	享保三戌月日 三木氏 藤原氏治兵□作之
1720 (享保 5 or32 or17)	善導寺 本堂	1	鬼瓦	享保 ^巳 子之年四月日	
1754 (寶歴 4)	斑鳩寺 弥勒堂 南東隅棟	2	伏間瓦	寶歴四戌年四月日 南無阿弥陀佛 久右工門(刻印)	二ノ五 (2)
1812 (文化 9)	正円寺 本堂	2	鬼瓦	文化九年甲年 五月日	
1765 (明和 2)	斑鳩寺 講堂 向拝東端	1	獅子付 留蓋	瓦師 三木与兵衛 作之	明和二酉 八月日 (1)
1765 (明和 2)	斑鳩寺 講堂 向拝西端	2	獅子付 留蓋	播列揖西郡 作人龍野住 瓦師 三木与兵衛	明和二酉 八月日 (1)
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 北西隅棟	3	二の鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	庄兵衛作 治七郎 (1)
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 北西隅棟	4	隅鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	三木庄兵衛作 治七郎 (1)
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 北面西側	5	降鬼	明和六年 丑ノ五月吉日	舩住人藤原氏三木 庄兵衛作 治七郎 (1)
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 向拝部	8	丸瓦	明和六年巳丑二月十七日 始之 瓦師當所 三木伊八郎 造之 現世安穩 後生善處 當寺雙樹沙門妙志記之	(1)
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂	15	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦	(3)

	南面			千時 明和六年巳丑二月中旬始之 瓦師當所三木庄兵衛 現世安穩 作之 後生善處 南無阿弥陀佛 當寺雙樹院大忍釋妙志 記之		
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 南面	16	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦 六年巳丑二月十七日始之 瓦師當所三木庄兵衛 現世安穩 造之 後生善處 當寺雙樹沙門妙志 南無阿彌陀佛 記之	(3)	
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 南面	17	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦也 明 六年巳丑二月中浣 始之 瓦師當 三木伊八郎 現世安穩 造之 後生善處 當寺雙樹院妙志識之	(3)	
1769 (明和 6)	斑鳩寺 講堂 南西隅	14	隅巴	播列船住人藤原氏 瓦師屋 三木庄兵衛 明和六歲 丑二月十七日	(1)	
1771 (明和 8)	斑鳩寺 講堂 東妻北側	6	降鬼	船柱人 三木庄兵衛	明和八年 寅ノ土相吉日	(1)
1771 (明和 8)	斑鳩寺 講堂 東妻南側	7	降鬼	船柱人 三木庄兵衛	明和八歲 寅ノ土相吉日	(1)
1812 (文化 9)	正円寺 本堂	2	鬼瓦	文化九申年 五月日		
1812 (文化 9)	正円寺 本堂	3	鬼瓦	船三木庄左工門 作人	文化九年 申五月吉日	
1812 (文化 9)	桑田脩家	1	鬼瓦	文化九年申年 五月日		
1812 (文化 9)	三木健家	2	平瓦	文化九 *年三月上旬		

				斑鳩庄鶴小田作人茂七郎 三木庄兵衛（刻印）	
1824（文政 7）	塩津家	1	鬼瓦	文政七 年萩月日 いかるかかわら志龜治郎	
1840（天保11）	正円寺 本堂	4	鬼瓦	干時天保十一〇〇三月上旬 斑旭之庄藤原姓三木氏	
1840（天保11）	正円寺 本堂	5	鬼瓦	天保十一年 〇五月 三木 庄兵衛	
1840（天保11）	斑鳩寺 柳生巧家所蔵	1	鬼瓦	天保十一年八月上旬 イカルカ藤原氏 三木庄兵衛作人 同同次太郎	
1845（弘化 2）	平井元世	1	鬼瓦	弘化二年 巳三月日 三木庄左衛門	
1859（安政 6）	森沢清数家	1	鬼瓦	安政六未年 イカルガ小田町 三木庄兵衛	
1877（明治10）	桑田脩家	3	鬼瓦	龍野住人 三木与兵衛 作之	明治拾年 丑四月日

この表は、現在、太子町教育委員会でその所在を確認している紀年銘瓦を年代順に並べたものである。

文献の(1)は太子町文化財資料第1集『斑鳩寺講堂屋根瓦Ⅰ』1989, 6, (2)は太子町文化財資料第2集『斑鳩寺弥勒堂瓦銘』1989, 7, (3)は太子町文化財資料第3集『斑鳩寺講堂屋根瓦Ⅱ』1989, 9, (いずれも太子町教育委員会)である。

	紀年銘を持つ瓦からわかるもの	推定されるもの																		
享保（1720）頃	藤原氏 仁左衛門 藤原氏三木氏治兵衛																			
宝歴（1745）頃	久右衛門																			
明和（1770）頃	三木与兵衛 三木庄兵衛 三木治七郎 三木伊八郎	藤原氏三木十五郎 仁兵衛 善右衛門 清六 藤右衛門 吉兵衛 源三郎																		
文化（1810）頃	三木庄左衛門 三木庄兵衛 茂七郎	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">時期不明のもの</td> </tr> <tr> <td>藤原氏</td> <td>三木</td> <td>善四郎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三木</td> <td>藤左衛門</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三木</td> <td>伊右門</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>亀三郎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保太郎</td> </tr> </table>	時期不明のもの			藤原氏	三木	善四郎		三木	藤左衛門		三木	伊右門			亀三郎			保太郎
時期不明のもの																				
藤原氏	三木		善四郎																	
	三木		藤左衛門																	
	三木		伊右門																	
		亀三郎																		
		保太郎																		
文政（1825）頃	亀治郎																			
天保・弘化 （1840～45）頃	三木庄兵衛 三木庄左衛門																			
安政（1859）頃	三木庄兵衛																			
明治初期（1877）	三木与兵衛																			

第2表 確認された瓦師の名前

瓦文

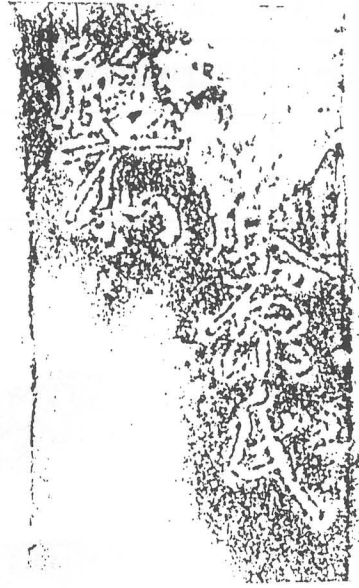
善導寺 (太子町竹広 185 番地)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	(享保)		鬼瓦	享保 ^巳 子之年四月日	
2			鬼瓦	□□藤原氏 鰯所	
3				イカルガ 三木藤左衛門	
4			軒丸瓦	イカルガ 三木藤左衛門	
5				天満山 関興市郎	

1

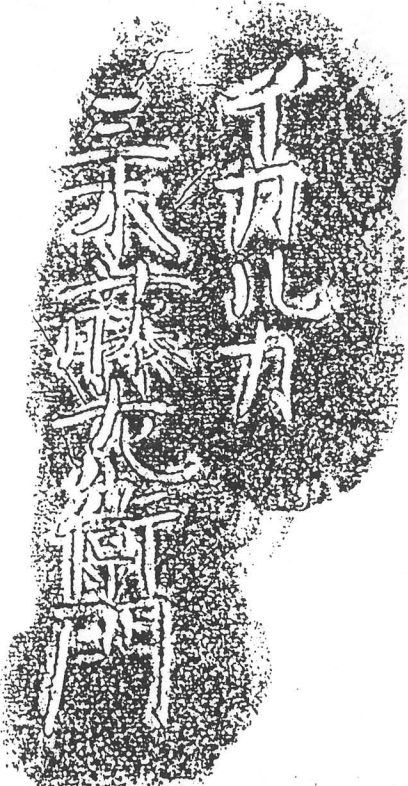


2



44 20 31

3



4

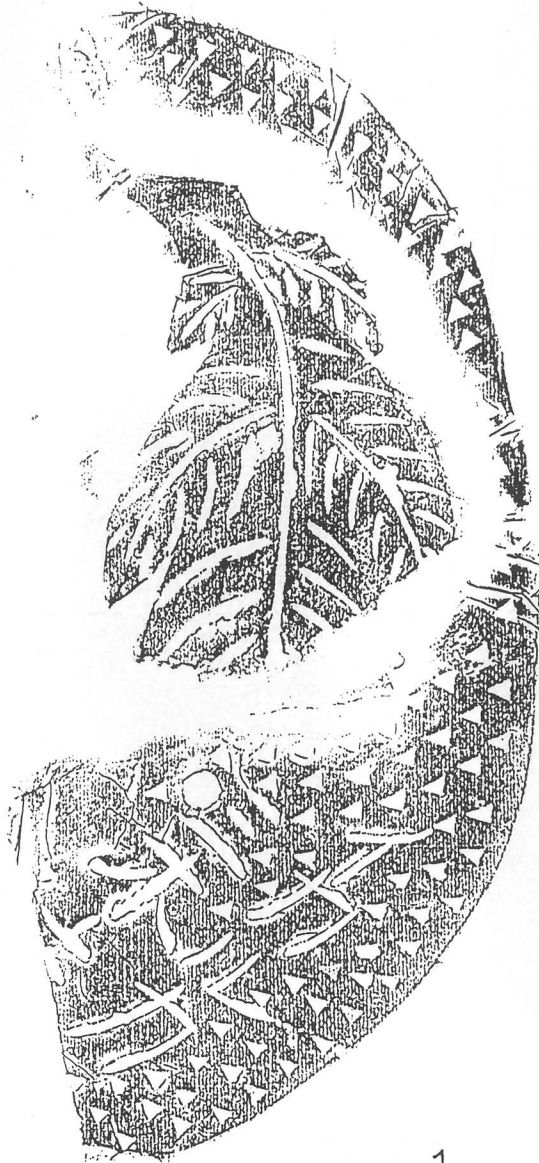


5



照雲寺 (太子町広坂字東垣内)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1		本堂	留蓋	イカルカ 三木口	



1

1/2

瓦文

正円寺 (太子町阿曾字屋敷)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1718 享保(3)	本堂	鬼瓦	享保三年 藤原氏 □□□□□□ 觥 住人 三月日 仁左工門	
				享保三戌月日 三木氏 藤原氏治兵□作之	
2	1812 文化(9)	本堂	鬼瓦	文化九年甲年 五月日	
3	1812 文化(9)	本堂	鬼瓦	文化九年 甲五月吉日 (右)	
				觥三木庄左工門 作人 (左)	
4	1840 天保(11)	本堂	鬼瓦	干時天保十一□□三月上旬 斑旭之庄藤原性三木氏	
5	1840 天保(11)	本堂	鬼瓦	天保十一年 □五月 三木 庄兵衛	
6		本堂	鬼瓦	立莖歡次郎 手間人當所 佐兵衛 中嶋庄左工門	

瓦文

正円寺 (太子町阿曾字屋敷)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
7		本堂	鬼瓦	三木庄左工門 作人	
8		本堂	鬼瓦	三木庄左工門 作人	
9		本堂	鬼瓦	イカルガ □木庄兵衛	

8
木
世
世
世

9
木
世
世
世

6
木
世
世
世

7
木
世
世
世

4
木
世
世
世

7
木
世
世
世

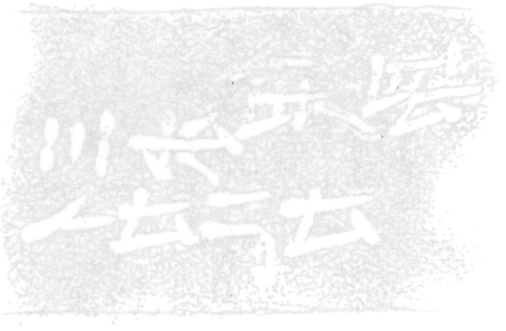
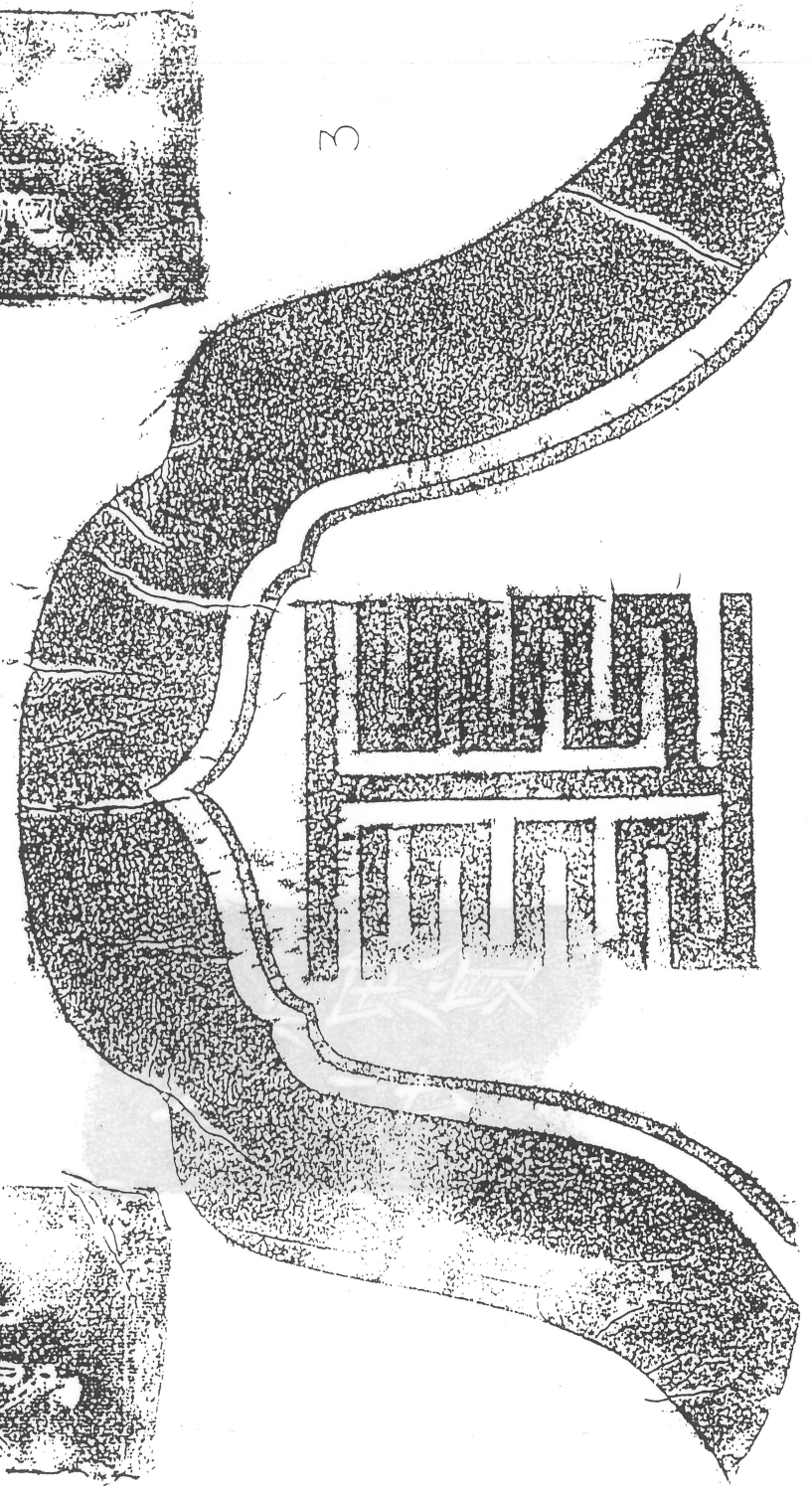
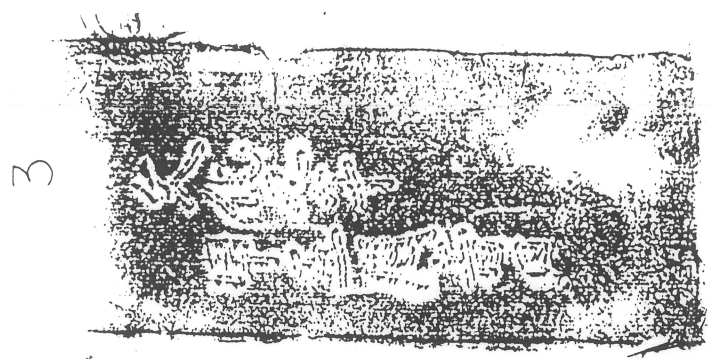
5
木
世
世
世

7
木
世
世
世

2
木
世
世
世

文五 (魚田干木) 土申申嶺大

類文	文	説	賦類	置立及辭類用時	(韻味) 長半	長番
	文	文 魚田干木 土申申嶺大	賦類	置立及辭類用時	(韻味) 長半	長番
		魚田干木 土申申嶺大				1
		魚田干木 土申申嶺大				5



瓦文

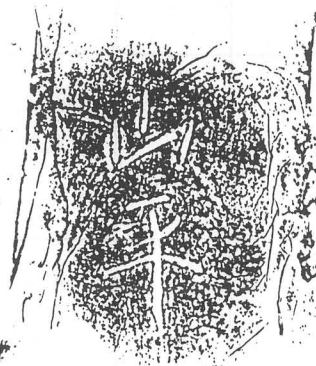
大歳神社 (太子町原)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1			鬼瓦	イカルガ 三木伊八郎	
2			鬼瓦	イカルガ 三木伊八良	



改野家 (太子町東南)

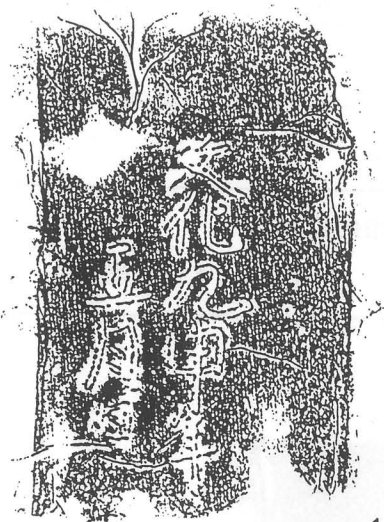
番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1			鬼	山平	



瓦文

桑田脩家 (太子町老原335)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1812 文化(9)			文化九年申年 五月日	
2			鬼瓦	三木庄左工門 作人	
3	1877 明治10		鬼瓦	龍野住人 三木与兵衛 作之	
				明治拾年 丑四月日	
4			鬼瓦	南出源 (印)	



1



2



3-1



3-2



4



塩津 家 (龍野市広山)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1824 文政 7		鬼瓦	文政七甲年萩月日 いかるかかわら志亀治郎	



稗田 操 家 (太子町松尾)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種 類	銘 文	文献
1			鬼瓦	父久松子四十八月日 イカルカ小田瓦屋亀三郎作人 同人保太郎人	



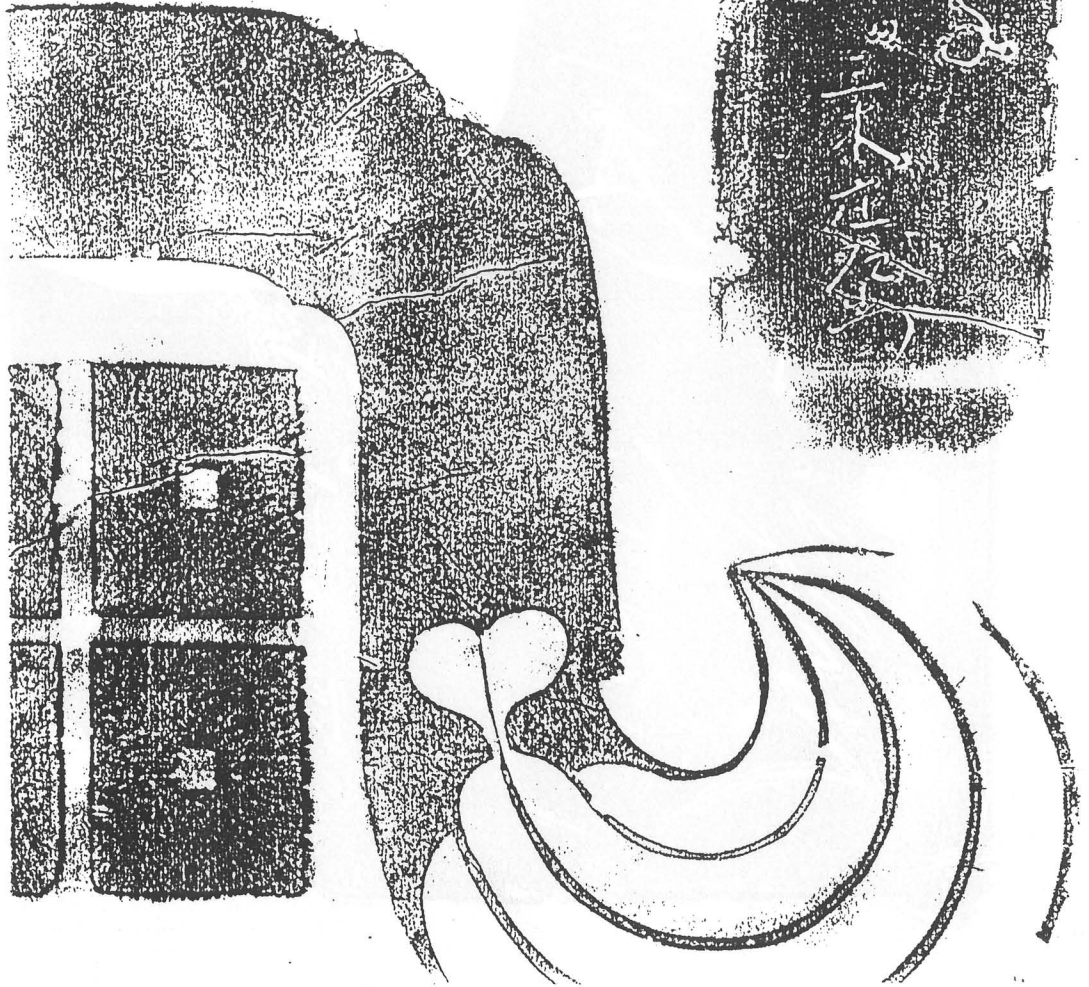
稗田 猛 家 (太子町松尾)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種 類	銘 文	文献
1			鬼瓦	イカルカ 三木藤左衛門	



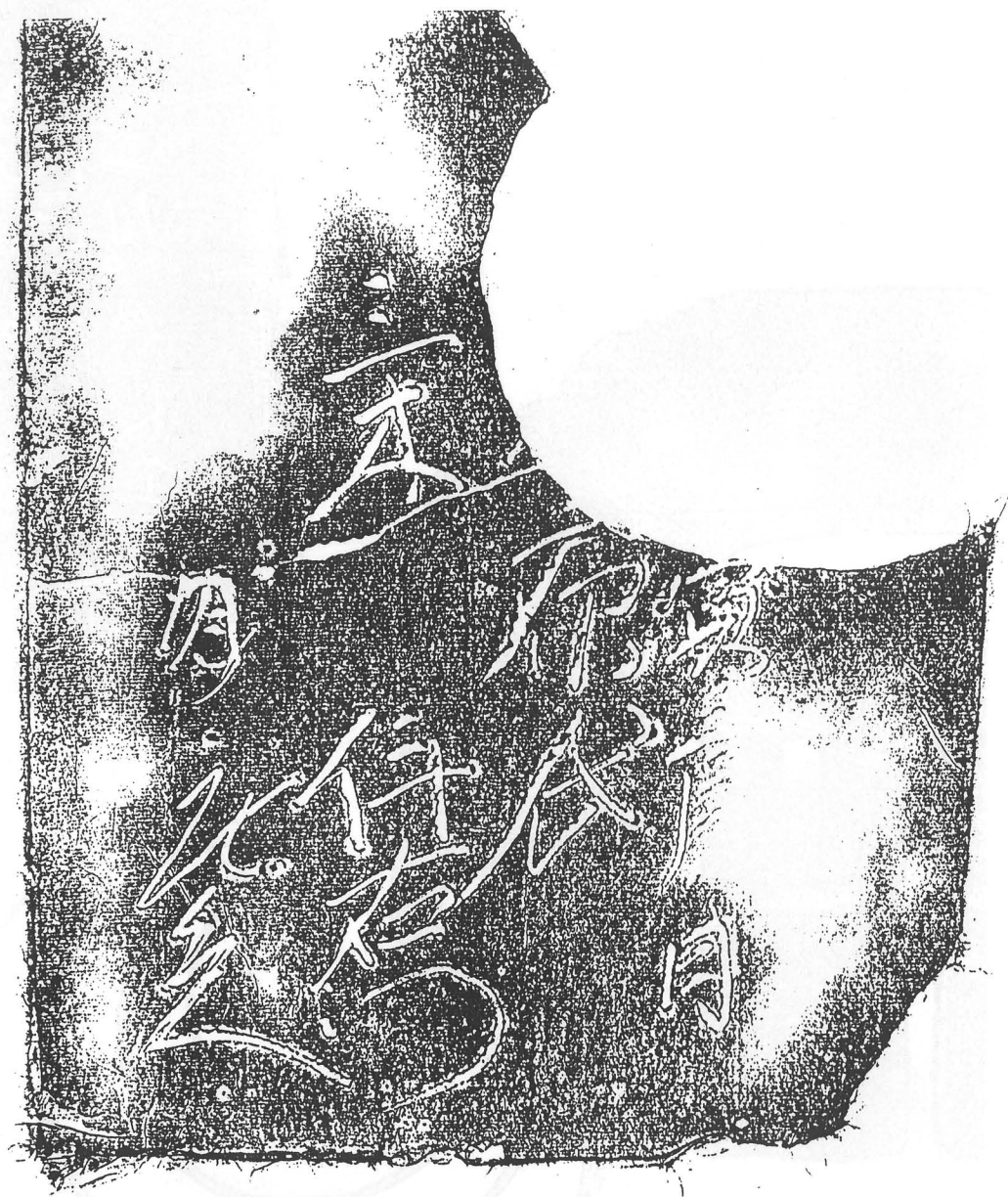
平井元世家 (太子町鶴)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1845 弘化 2		鬼瓦	弘化二年 巳三月日三木庄左衛門	



三木 健 家 (太子町鶴)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種 類	銘 文	文献
1			平瓦	□虎三月日 □原氏 三木 伊右門	



三木 健 家 (太子町鶴1245)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種 類	銘 文	文献
2	1812 文化 9		平瓦	文化九末年三月上旬 斑鳩庄鶴小田作人茂七郎 三木庄兵衛印	



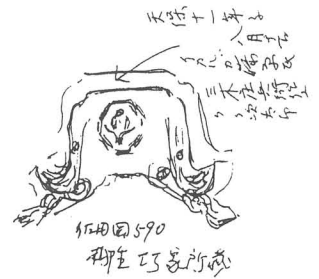
森沢清数家 (太子町東出212)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
1	1859 安政6	住宅	鬼瓦	安政六末年 イカルカ小田町 三木庄兵衛	



柳生 巧 家 (太子町佐用岡590)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種 類	銘 文	文献
1	1840 天保11	斑鳩寺	鬼瓦	天保十一年子八月上旬 イカルカ藤原氏 三木庄兵衛作人 同同次太郎	



瓦文

斑鳩寺

庫裏保存瓦

(太子町鶴 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
	1551(天文20) か		鳥伏 間瓦	同人□□ 御太子御寶前瓦天文二□□ 助兵□□ □□□□	



瓦文

斑鳩寺 庫裏保存瓦

(太子町鰯 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
2			軒丸瓦	南無阿弥陀仏□	



